

タヒチヌイトラベル発



タヒチプチ情報

2018年4月6日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

イアオラナ！

3月末から4月初めのイースター休暇を利用して、モーレア島へ遊びに行ってきました。参加したのはモーレア・ラグナリウムツアー（Snorkeling Guided Tour at Moorea Lagoonarium (By Moorea Water Games)）です。

ラグナリウムとは、まるで水族館（アクアリウム）のように魚がたくさん集まる場所を、タヒチのラグーンとかけて名づけた場所です。離れ小島にあり、名前は Motu Ahi。場所はここ。



まずはホテルに車でお迎えに来てくれます。フェリー港へ移動してツアーボートに乗り換え、ラグナリウムへ。乗船時間10分ほどでラグナリウムに到着です。

まずは足が着く浅瀬で、エイやサメとご対面。危険のないようにロープが張ってあり、ロープから中に入らないように指示されます。ロープの向こう側で現地ガイドさんが餌付けをするので、目の前にサメが来たり、エイに触れることが出来たりとここだけでもなかなかの迫力ですが、浅瀬だけに魚は多くありません。



一通り終わったら、ロープを伝ってさらに奥の「今日の目的地」まで行きます。途中から足が届かなくなり、期待が高まります。（写真の奥、大きな岩の向こう側へ行きます。）



** 手前にサメがいるのが見えますか？



** エイとの触れ合い



大きな岩の向こうに移動すると、こんな感じでした。



魚の群れ！ここにもロープが張ってあり、まずはロープに掴まってガイドさんが餌付けをします。餌を狙って、サメやエイはもちろん、色とりどりの魚たちが集まってきます。モーレア島でもボラボラ島でも、これほど多くの魚を

スノーケリングで見れる場所は珍しいのではないのでしょうか。手が届きそうな距離に魚の大群。圧巻の大迫力です。

餌付け中は魚が（というよりサメが？）興奮しているのでロープを超えてはいけないと説明されましたが、餌付けが終わった後は自由にスノーケリングを楽しめます。餌がなくなると魚の数も少なくなります。それでもたくさんの魚たちと泳げます。



ラグナリウムツアーは、

- ・早起きしてモツピクニックで一日中外出するのはやめたい
- ・午前または午後の半日だけで、たくさんの魚を見たい、一緒に泳ぎたい
- ・エイとサメを間近で見たい

という方にお勧めです！

注意点としては、

- ・スノーケリングセットは自分のものがあつた方が良いです。ホテルで借りても良いが、サイズに注意。またツアーではゴーグルと息継ぎチューブではなく、(剣道やフェンシングのお面のように)顔をすっぽりと覆うマスクを借りられます(口と鼻で息を吸えるので結構便利でした！)。ビーチシューズも貸してくれます。
- ・岩の向こう側は、かなり潮流が速いです。スノーケリングセットのサイズが合っていないと、すぐにマスク内に水が浸入してきます。
- ・泳ぐのが苦手な人でもロープに掴まって移動できるので大丈夫ですが、フリータイムのスノーケリング時に潮に流されないよう十分注意してください。70代の両親と、8歳・10歳の子供と一緒にりましたが、70代はなんとか一人で遊泳可、子供は一人では無理でした。

以上です。

それではまた！